

日光総合会館検討専門部会会議録

件名	第四回日光総合会館検討専門部会		
日時	令和元年8月23日(金) 10:00~11:30	作成日	2019年8月27日
場所	日光行政センター 2階室	記録者	資産経営課 斎藤
出席者			
<日光市> 上中副市長 安西財務部長 小林資産経営課長 星公共施設マネジメント係長 資産経営課公共施設マネジメント係職員		<専門部会メンバー> (出席部会員、アドバイザー名簿別紙) (敬称略)	
議事内容			

■配布資料

第四回日光総合会館検討専門部会 資料1、別紙資料1

■議事録

1. 開会 ~安西部長~

2. 部会長挨拶

「皆さんおはようございます。非常に暑かったのが、秋らしくなってきた訳ですけれども、過去3回の会議がありまして、最後に部会員さんから意見がありましたように、ちょっとゆっくりしていたかなと思っております。今日は議題にありますように、具体的に決めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。」

3. 議事

○部会長

「それでは、部会長として議長役を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。まず今日の出席状況ですが、15名のうち、3名欠席の連絡と1名遅れているということで、定足数に達しておりますので会議は成立いたしますので、早速始めたいと思います。議事に入る前に、本日、傍聴の申出がありましたので、これを許可したいと思います。意見はございますか。意見がないようですので、傍聴を許可するという事でよろしくお願ひいたします。それでは、これより会議次第に基づき議事に入ります。お手元の次第3の「(1)」ということで、当該地の具体的事業内容の検討について」ということで、やりたいと思います。まず事務局の方からご説明よろしくお願ひいたします。」

・・・事務局より資料1の各種データの説明。

「それでは、事業内容・規模等について、ご説明いたします。

本日の議題は、6ページに記載の組み合わせパターンについてご意見をいただくこととなりますが、その前に、これまでの会議の中で、委員の皆さまから検討に必要なものとしてご意見やご要望があった件について、資料としてまとめさせていただきましたので、その説明を先にさせていただきます。

2ページをご覧ください。

これは、日光総合会館周辺に関する法規制を一覧表にまとめたものとなります。高さ制限や設備に係る主なものを説明いたしますと、文化財保護法では、特に規制はなく、世界遺産登録区域の緩衝地帯、いわゆるバッファゾーンとして、大きさや色調などに配慮が必要となっています。

また、自然公園法の普通地域となっており、基本的には高さ13mまでとなっていますが、13mを超える場合は、環境省に届け出た上で、25mまで建築可能となっています。なお、前回の会議の際に第1

駐車場が自然公園法の特別地域という説明をいたしました。正確には、普通地域における公園事業として指定を受けている区域で、特別地域と同様の規制を受けているということになりますので、訂正をさせていただきます。

建築基準法では、自動車車庫、つまり、駐車場が該当することになりますが、3階以上の場合は、耐火建築物、150㎡以上の場合は、耐火建築物又は準耐火建築物としなければならないとなっています。

その他、都市計画法、景観法、バリアフリー新法など、施設の建築に当たって、様々な規制を受けることとなります。本日の議論に当たっては、個別の法律に適合するののか一つひとつ検討していくということではなく、様々な規制を総合的に受ける区域であることから施設建築にも制限を受けるということを通認識していただいた上で、ご検討いただきたいと思います。なお、戻りますが、1ページは、世界遺産登録区域と自然公園法等の区域の図面となりますので、参考としてください。

次に、3ページですが、こちらは、日光総合会館の敷地図と施設概要を改めて記載させていただきました。敷地面積が7,900㎡で、日光総合会館と駐車場となっており、日光総合会館が鉄筋コンクリート造、延床面積5,679㎡、駐車場は、地下駐車場を合わせて162台で、指定管理者による管理を行っているところです。

4ページをご覧ください。

こちらは、駐車場の一日あたりの利用状況を平日と休日に分け、月ごとに示したものととなります。8月、10月、11月は、休日、平日とも利用者数が多くなっていますが、その他の月は、休日と平日の利用に大きな差があることがわかります。また、全体的に12月から3月までは利用者が少なくなっております。下段の表は、月ごとの最大利用と最少利用を表したのですが、5月と1月で500台を超えており、ゴールデンウィークと正月に利用が集中していることがうかがえます。

次に5ページをお開きください。

こちらは、駐車場とホール機能を直営で整備した場合の現会館の解体を含め、施設建築までに必要な工程とスケジュールの目安をグラフ化したものです。最短で実施した場合を想定しておりますが、それでも2年は必要と考えており、工事に関連する事務や議会手続等や整備内容、さらには繁忙期の営業に影響が少ないスケジューリング等を勘案すると、さらに時間を要するものと考えております。

なお、これまでの公共施設の解体費用等を参考に試算した総合会館の解体費用を、概ね1億8千万円と見込んだところです。

以上が、これまでの会議の中で、委員の皆さまからご要望等のあった資料の説明となります。」

○部会長

「ありがとうございます。今いろいろ過去の会議で出ました、法的な規制とかそういうところはどうなっているのかということの市の方からの色々資料の説明でしたが、まず、委員さん方がこれを見まして、色々ご質問、疑問等あるかなと思うのですが、その辺よろしくお願ひいたします。」

○部会員1

「一点確認というか、再度の質問になってしまうのですが、今のご説明の中で、第一駐車場が、普通地域だけど、特別地域と同じ扱いを受けるということで、ということは、結局はエレベーターですとか、そういう設備を建設というか造ることは現実的に難しいということでは理解してよろしいでしょうか」

○事務局

「第一駐車場側につきましては、以前にも要望がございまして、市の方で検討させていただいた際に、特別地域と同じ扱いで制限がかかる部分、高層化だったり、裏側というか、二社一寺側が史跡になっていたりとか、屋根をつけなくては行けないとか、色々な規制が非常に大きいという事もあって、断念したということになっておりますので、こちらにつきましては、今回の検討にあたって、それをひっくり返すということではなくて、そちらは断念した状況のままで、今からそこを再検討するのは難しいのかなというのが考えている正直なところでございます。」

○部会員 2

「これ、見比べてみると解体を含めてホール機能を持たせた施設というものの場合と、現状の建物を改修する費用はあまり変わってこない感じがするのですが、この辺どうなんでしょうか。市の方の考えは。」

○事務局

「今いただいたご質問の部分については、この後の議論を進めて行く中でのご説明のなかで少しお話をさせていただければと思いますので、現時点では、回答を保留ということによろしいでしょうか」

○部会員 2

「世界遺産のバッファゾーンに入っているところなんですけれども、そこにどんどん車を入れていしまうのはどうなのかなというのは、我々観光業なので、感じてしまうのですが、日光市としては、日光を盛り上げて、当然、市民に儲けてもらって、税金を徴収して市を運営していくと思うんですけれども、やはり、たくさん儲かった方が良くと思うので、その辺、市としてどうお考えなのか。何も案等なければ、皆好き勝手やっちゃって、カオス的な状況になってしまうと思うのだが、そこを足並みそろえてマネジメントしていくのが、市の役割の一つかなと思うのですが、日光市としては、その辺どう活用していくと一番いいのかとかお考えがあればお聞きしたい。」

○副市長

「儲けやマネジメントはさておき、景観について言わせてもらう。資料の2ページの方で説明させてもらったが、やはり特に景観法に基づき、日光市独自の景観計画というものがあって、先程お話しがあったとおり当該エリアがバッファゾーンにあり、周辺を含めて世界遺産区域というみなし方をした場合に、例えばそこに大きなコンクリートの建物や鉄骨造の駐車場ができるといったことは好ましくないと言うのは理論としてはあります。このため、例えば新しいモノを造る場合に、大きく阻害要因となる、または劇的な変更となるようなことが見えてきてしまうことは極力避けた方が良くというのは考え方としてあります。しかし、当該場所が既に駐車場化がされていることから、現状を踏襲する程度であれば、市としてもそこは許容できる範囲なのかなというところですね。一方で、時代は景観というものを重視していこうというトレンドにあると思いますので、そこには十分な配慮が必要ということも言うまでもありません。」

○部会長

「他にどうでしょうか。色々グラフとか資料があるのですが、その辺でご質問ありますでしょうか。それでは、アドバイザーの先生方から何かありますでしょうか。」

○山本アドバイザー

「やはり、4ページのデータが気になるんですけど、今、駐車場の一日あたりの利用で、お休みの日と平日の日の差が相当あって、どこをポイントに置くかなんですけど、お休みの日、土日祝祭日をとるかによっては、かなり大規模な駐車場が必要になるけど、平日を考えると、平日は、ほぼ使われていない状況があるので、そこをどこまでやるかと言うのはかなり大きさによって影響出てくると思うので、最大の数字を求めて行くのか、ある程度その辺をどこまでやるかによって規模感が全然違ってくると思うので。もう少し増やすということは今の話でないで、この中での考え方になると思うんですけど、そもそも土日だけキャパを増やすことが実際可能なのかというのは、なかなか難しいので、それをどうしたら良いのかを今考えています。」

○西尾アドバイザー

「私も同じところが気になっていまして、この後の議論になると思いますけど、駐車場、現状で毎年2千万円位ずつ市に収入として入ってくる状況だと思いますけれども、仮にこの駐車場の規模を2倍にしたからといって、2千万円が4千万円になるかと言うと、そうではない可能性があるのではないかと考えている。これだけ、最大と最小の差が大きいという事は、単純には考えられないのではないかと、後で気をつけておく必要があるのかなということを思いました。」

やはり、もう一件ご意見ありましたけれども、法令等の制限によってどれ位今後の規模を考える時に、我々がそれを踏まえて考えなければならないのかという所は、この後説明あるかもしれませんが、もう少し、クリアに制約条件が出てくると、じゃあ、その制約の中で、どんな機能が考えられるかということに繋がっていくかと思しますので、その辺をちょっと整理しておく必要があるかなと言う風に思います。」

○部会長

「ありがとうございます。それではですね、今の先生方のアドバイス等を受けまして、次のですね、資料では6ページになるかと思うんですけども、そちらの方に移っていきたいと思います。具体的にじゃあどうするのかというところになるかと思います。市の方から説明をお願いします。」

〇事務局

「それでは、続きまして、6ページにつきましてご説明させていただきます。

今回の会議につきましては、前回、皆さまからいただいた個別の意見を項目ごとに意見の方向性として整理させていただきました。今回の会議では、前回整理したその意見の方向性を整備内容のパターンとして6つに整理いたしましたので、その整備パターンを絞り込んでいきたいと考えております。それでは説明させていただきます。

まず、①駐車場についていえば、東町や大谷川河川敷などに駐車場を整備し、世界遺産登録地域には車を入れないことが必要だという意見があったものの、現在の渋滞状況を解消するためには、抜本的な検討が必要であり、すぐに対応できるものではないことから、総合会館の跡地に多層階の駐車場を整備することで、駐車台数を増やすことができ、それが渋滞対策の一助となるというご意見を踏まえ、すべてのパターンに①駐車場機能を位置づけさせていただきました。

②多用途に活用できるホール機能は、パーティーなどで区切って小部屋化したり、可動式の階段状の椅子を設置できるようにしたり、可動式のステージにしたりと、様々な状況に応じて活用できるような多目的なホール、集会機能という形で整理したところです。

③公共交通等のハブ機能とは、駅から神橋周辺までの渋滞により、中宮祠方面に向かうバスが遅延し、観光客が中宮祠方面への移動をあきらめてしまうケースに対応するため、敷地内に、バスの回転場所を設け、二社一寺周辺と中宮祠間を往復できる機能を設けるといいます。

④その他の機能は、前回の資料の最後にお示しいたしました、その他一体的に整備する施設として掲げたものとなります。前回の資料をお持ちの方は、前回の資料1、6ページをご覧ください。世界遺産センターや観光情報機能など一体的に整備する施設についてのご意見があったことから整理の一つとしてもうけさせていただきました。まずは、当該敷地面積や法規制等を踏まえた場合、そもそも、これらの施設を一体的に整備するのかご検討いただいたうえで、整備するとした場合、どのような施設が必要なのかという視点で整理していただきたいと思います。

Aは、①駐車場のみ、Bは①駐車場と②多目的用途のホール機能、Cは、①駐車場と②多目的用途のホール機能に③公共交通等ハブ機能、Dは、①駐車場と②多目的用途のホール機能に④その他の機能、Eは、①から④すべての機能、Fは、ホール機能を除いたすべての機能という6つのパターンとしました。意見の大小があったことは承知いたしておりますが、総合会館跡地利用としてふさわしいパターンということで、皆さままでご議論いただきたいと思います。

続きまして、本日お配りいたしました別紙資料1をご覧ください。

こちらにつきましては、駐車場機能とホール機能を検討するにあたりまして、参考となるデータを整理したもので、本日追加させていただきました。

まず、駐車場につきましては、平面の場合と多層化した場合に分け、想定される駐車台数と整備費用を試算したものです。現在の駐車場が概ね3,000㎡、162台ですので、それをベースに、3,000㎡の場合と少し面積を増やして4,000㎡の場合で試算をいたしました。

1層2階の場合、3,000㎡で240台、約4億2千万円、4,000㎡の場合、かつこ書きの部分になりますが、320台、約5億6千万円と見込んだところです。こちらにつきましては、かつこ書きの部分が全て4,000㎡の場合ということになってございます。

なお、試算に当たっての条件は、下の点線で囲んだ(1)～(5)のとおりとなっておりますが、まずは、1台当たりの必要面積を20～25㎡ということで算出をいたしましたので、現在3000㎡で162台となっておりますが、試算の都合上、3000㎡で150台という形で平面上の中では整理をさせていただいております。整備費用の算出根拠は(2)に記載のとおりでございます。また特にご注意くださいというところに関しては、(5)に記載のとおり、こちらの費用につきましては、イニシャル、整備費用ということになってございまして、維持管理費用のランニングコストにつきましては、含まれておりませんので、維持管理費用がこの他にかかってくるというご認識をいただければという風に思っております。続きまして、ホール機能については、収容人数規模に応じた平面積、つまり建築面積と整備費用の試算となります。整備費用については、一番下の点線で囲んだ部分の(1)にございますように、近年の施設整備実績ベースで試算したもので、S造、つまり鉄骨造で、㎡単価50万円で見込んでおります。近年、建

築資材や人件費等の高騰によりまして、㎡単価が大きく変動しております。50～90万円という形で変動しております、整備時期によっても、整備費用が大きく変動することも想定されるかと思っております。

なお、ホール機能の場合も、この費用とは別に維持管理費用がかかってくるということになります。

これらの試算に併せまして、前回の会議までにお示しいたしました利用状況、本日参考にお配りさせていただいたデータ（第2回目会議資料）を見ていただければよろしいかと思っておりますけれども、そちらの記載内容、さらには、先ほどご説明いたしました一日あたりの利用状況等も総合的に勘案したうえで、皆さまのご意見、出来れば一つのパターンとしてご協議いただければと思います。ただ、会議の時間を1時間半という形で設定させていただいている中で、時間までにそれを無理にまとめてくださいということにはならないのかなとも思っております。なかなか、まとまりきらなければ、続きを次回にということも想定範囲の中かなとも思っておりますので、ある程度パターンが集約できるようなご議論をお願いしたいと思っております。説明は以上になります。よろしくお願いいたします。

先程、部会員2さんからご質問いただいた件について、先に回答させていただきます。

今ご説明いたしました別紙資料1という部分と、今までにお示ししました、第2回目会議の資料1というなかで、費用もそれほど変わらなくなってしまうのではないかとこのところについての考え方ですけれども、現在の建物を改修して、同じようなお金をかけて改修した場合の既存の建物のライフサイクルコストと新しく造った場合のライフサイクルコストというのは当然に変わってくると思っておりますので、ございます。同じ位のお金をかけて、古いものを直して20年使うのか。新しいものを造って、30年、40年使うのかという所での、金額的には同じかもしれませんが、違いとしてはそういった差が出てくるのかなという認識でいるところでございます。」

○部会長

「今、色々説明があったところですが、まずは資料そのものについてご質問等あればよろしくお願いいたします。

そこにありますように、当該地の跡地に必要な機能、我々としてはどれを最終的に求めていったら良いのか。ただ、その場合にはやはり、視点としては、市民の皆さんがそれでどう満足するのかと言いますか、市民の目線と言いますか、それと、後、当該地の場所と言うかを考えながら、最終的なものに持っていければと思っております。

その辺で、パターン化しまして、①から④まであるのですが、また、一つそれぞれが、多様な内容を持っていて、例えば駐車場の機能と言いましても、先程市の方からも説明ありました渋滞対策の一助とすると、非常に渋滞の時に大変な状況がありますので、その辺を考えなくてはならない、ただその場合に先程アドバイザーの先生からありましたように非常に上下動が激しいというかその辺のことも考えながらでは、我々としてはどうなのかということになるかなと思うんですが、まずその辺からですね、ご意見等あればお願いしたいと思います。」

○部会員3

「③の公共交通等ハブ機能なんですが、先程の説明ですと、バスの遅れを無くすためにと言う風に聞こえたのですが、夏の渋滞と秋の渋滞で渋滞の質が違うという事を一つ思い出していただきたいと思う。それと、夏の渋滞も秋の渋滞もバスがクリアするのが一番大変なのが、神橋だと思うのです。その神橋については、駅から来た場合に神橋を超えて総合会館の場所になるので、公共交通等ハブ機能と言うのは、考えるべきことなのかなと感じますので、その辺どうなんでしょうか。」

○事務局

「前回の会議でお話しさせていただいた話なので、本日は省略させていただきましたけれども、近年インバウンド等の影響で、公共交通機関、電車を使ってお見えになる方も相当数いらっしゃる。そういった、車でいらっしゃる方々が二社一寺周辺までバスなり徒歩なりでお見えになった際、この後中宮祠方面に行きたいということになったとしても、神橋周辺が渋滞していてバスがなかなか来ないという状況のなかで、中宮祠方面に行くことを諦めてしまう、断念してしまうと言う方も相当数いらっしゃるのではないかなというお話しの中から、日光総合会館の場所に中宮祠と二社一寺の所をピストン出来るような機能として、あそこにバスのハブ機能、バス事業者の考え方もよりますので、市が造れるかということではないかもしれませんが、そういった機能として、あそこにバスが回転できる、もしくはバスが停留できるようなところが考えられるのではないかとこのところ、今回パターンの中の一つに加えさせていただいたところになります。皆さんのご議論の中で、そうは言っても、時期的に本日お配りした4ページのところの資料を見ると、渋滞の状況を見ると、そこまでする必要はないでしょうということであれば、パターンの中からも皆さまの方で外していただくということでもよろしいかと思っておりますので、入れさせていただいた理由としてはそういったところになります。」

○部会長

「今までの議論の中で色々出てきたものを入れたということになります。」

○部会員 3

「一点確認なのですが、その場合は駅から神橋辺りまで歩いて、そこから先という話で良いのでしょうか」

○事務局

「車でお越しにならない方が、二社一寺周辺を散策だったり、見学して、その後、中宮祠に行きたい方が、バスが来ないで行けないので、バスが来ないと当然中宮祠まで行けないですから、歩いて来られる方が基本的にはメインになるうかと思えますけれども。そういった方がターゲットというような位置づけの整理になりますかね。」

○部会長

「なかなか、この辺はちょっと難しい面もあるのかなと思いますが。バス事業者さんの考えもありますし。その辺でどうでしょうか。③の公共交通等のハブ機能というのは、あの限られた場所の中で、これも付与した方が良いのか、どうか、その辺ご意見よろしくお願いいたします。」

○部会員 2

「ハブ機能に関しては、駅前でレンタル自転車もやっているんですけども、ああ言う物も、活用していただくと、もっと活かせるのではないかと思います。私は総合会館の近くで商売をやっていますので、お客様の意見を結構いっぱい聞きますけれども、やはりバスが全然時間通り来ないので、回遊を諦めてしまうという方は非常に多いのは我々現状として気づいているところですし、駅からバスに乗って3時間かけて西参道まで来るとい方もいらっしゃるんですけど、歩くと30分位で来てしまうんですよ。そういうところももう少しお客様を歩かせて、歩くと当然お客さまお金を使いますので、もう少し日光市でお金を使ってもらえるような人の流れを作るといのも一つのこのハブ機能の中に入っているのではないかと思いますので、もう少し、日光市自体が財政が悪い悪いと言っているのも、もう少し財政の部分でももっと良くなる意見と言うのはどんどん出てくると良いのではないかと思います。」

○部会長

「あとどうでしょうか、委員の皆さん。この③の機能を具体的に我々としてはどうしたいのかということになるんですけども」

○部会員 4

「③のことについてと言うか、我々が専門部会で検討しているのは、まず原点に立ち返って、日光総合会館を壊すというのは決まっています、その跡地をどうするか、その中の駐車場をどうするかというのが一つだと思う。もう一つ大きな問題と言うのはホール機能と言うのを私達は要求しているんだけど、それをどうするかという大きく二つなんだと思う。この二つを一緒に検討すると話が全然進まないということなので、駐車場は駐車場、ホールはホールで整理していった方が、限りある時間ですので、私はその方法でやっていった方が機能的にあるのではないかと感じています。何故そんな事を言うのかと言うと、日光総合会館を取り壊すことによって、どのような市民サービスに不都合が生じるか、では、それをどういう風にフォローしていくのかというところが、我々に預けられている課題だと思う。その為には建物が必要なのか、そのための裏付けはどうかという話になってくるだと思うんですけど。」

今回6ページにパターン化されたものが出てきた。これは総合的に出てきたものなのだが、これを論議していると、一日二日経っても結論が出てこないと思います。となると、これを実際の一つの評価方法として、マトリクス評価というのがございます。これをパターン化して行って、点数で評価していく。それを委員の皆さんに市の方でいくつかの項目を出してもらって、点数で評価をして、このパターンAからFの評価をして、事前に検証して、次回の会議でその結果について再度検討するというような形の方法もあるかと思いますので、全体的にやると話が途中で止まってしまうという形になると思いますので、例えば、こうやって決まりました、市の方はこれで建物を建ててくれるのかと言うと、財政上で出来ない可能性も出てきます。そうなるとその次のフォローどうするのかという代替案まで我々は考えなくてはならない。例えば今の郷土センターを改修してそういったホール機能を造るか、何も建物を新たに造る金がないのであれば、現況の建物を改修してやるという方法も選択肢としては出てくるのではないかと思いますので、話の進め方で申し訳ないんですけども、そういう形で一つずつ分けて検討していった方が良いのかなと感じましたので、意見として述べさせていただきます。」

○部会長

「①から④までの機能が色々あるんですけども、確かにあそこの日光総合会館の建物は壊すということで、ホール機能と駐車場どうするんだと言うのが、最大の課題なんですね。それともう一つ財政的なものは、ここでは確かに大きな問題なんんですけども、そこまでは我々はわからないということで、あの跡地をどうするんだということで、我々としての最大公約数的なものをまとめたいと思うんですね。先程の③の公共交通等ハブ機能は意見としては色々ありましたので、これを省くことはなかなか出来ないと。まずはその辺を聞いて例えば外すなら外すと。そして残ったところで、そこを具体的にやっていこうと言う風なことなんんですけども。確かに時間がかかるかもしれないんですけど。」

○部会員 4

「③を外す必要はないと思うんです。評価方法の中にこういう意見がありますので、そういう意見も評価していただくと言う形の方が良いのかなと思います。」

○部会長

「もちろんこれを全部カットしてしまうという訳ではございませんので。それでは、今部会員さんからもありましたとおり、まずは最大の問題は駐車場とホールなんですね。その辺で先ずご意見等ありましたら、まあ両方に関しても色々考えがあるのかなと思うんですけども。この駐車場もですね、先程アドバイザーの先生からもありましたように、そういう風なことも考えながら、あるいは渋滞等も考えながら、では、我々としてはどうしたいのかという所になってくるかなと思うんですね。ある程度のものが絞れば、もちろんそれは財政的なものがありますので、ただ我々としては、これが理想的なのかなというものがまれば一番良いのかなと思うのですが、その辺でどうでしょうか。」

○部会員 4

「では、もう一つだけよろしいでしょうか。実は今年の1月ですか、サウンディング調査をして、3業者からサウンディングを行いまして、調査結果内容が出ております。その中で、一つ、ホール機能は収益性が見込めないため、行政が管理所有等所有区分の検討が必要であるという内容の結果が出ておりますよね。そうすると、官民連携でやった場合民の方でお金が出せないよとなると、官だけでそういったものが処理していただけるのかどうかというのをお聞きしたい。それがもしダメだったらこの計画はダメになるのかということをお聞きしたい。」

○部会長

「その辺は非常に難しいことかなと思うんですが、その辺はどうでしょうか。またそれはこの方法論になってくるかなと思うんですね。それはまた次回に回さなくてはならないかなと思うんですけども。まずはその辺の市の考え方を回答いただけますか」

○事務局

「今の話のところですけども、まずホール機能の規模にもよるのかなというのは正直ございます。皆様ご案内のとおり、駐車場としては、非常にプラスが出ていると言う部分で、そのプラスの部分ホール機能に当て込む、更には公民連携という手法を使っていくということで行けば、もちろんそのホール機能と言うものを造るということは可能なかなと捉え方をしているところです。この後の手法の問題も当然出て参りますけれども、ホール機能、サウンディングの結果がこういう風に出ているので、市としては造れませんということにはなりません。規模やり方等を工夫することによって、当然にホール機能を造ることは可能ではないかと言う風に思っているところでございます。」

○部会長

「ありがとうございます。あと、それからですね、駐車場とホールとあともう一つのその他の機能がありまして、先程の6ページの資料で、では、このその他の機能をどうするのかと言うことなんですね。大体委員の皆さん方駐車場とホールということで考えているのかなと思うんですけども、では、その他のものはどうしたら良いのかと、色々意見が過去の委員さん方のお考えの中から出てきているんですけども、その辺も含めましてどうでしょうか。」

○部会員 2

「正直、駐車場の方は、だったら、我々近くで商売をやっていますから、私達が生きている内だったら駐車場でも良いかなとも思うんですけど、もう少し未来のことを考えるべきと思うと、まあそれだけで簡単に考えてはダメだろうと思うんですね。恐らくいらなくなるものになってしまうと思うので。良く考えなくてはいけないと思っているんですが、ホール機能だけだと、当然今と用途が変わらなければ使用率は変

わらないので、赤字になってしまうと思うんです。やはり色々なものに使える機能を備えた施設にすることによって、利用率がアップできるのではないかと思いますので、単にホールだけというのは厳しいのではないかと思います。規模に関しても恐らく今市のニコニコ本陣が380名、約400人弱位の規模だと思うので、大体あれか、もう少し小さい位のもが良いのではないかと。あれ位の広さがあれば、多用途、色々な目的に使える施設に出来るのではないかと思いますので、これは皆さんで考えて、どんな用途に使うのかというのは決めて行った方が良いと思うのですが、ホールだけと言うのは、私はなしかなどと思っています。」

○部会員 4

「それぞれ皆さんから多種多様なご意見があろうと思うんですが、私は先ほど部会員3の方が仰った案に賛成なんです。そういった一つの方向性を見出して進んでいけないことには、この部会は集約出来ないと思うので、是非そういう方向で行っていただければと思っています。これは蛇足ですが、実は今の総合会館が出来た時の目的は、半分は体育館だったんですね、半分2階は結婚式場を想定して作ったんですね。あそこでほとんど結婚式を日光市内の方が月に5件以上は結婚式をやっていたはずなんです。あそこに二荒山さんから来てちゃんと式場もありまして、写真も撮れる撮影室もありまして、新郎新婦の控室、家族の控室、それで二階に和室があるのがそこなんです。1階も荷物を置いたり、今の大会議室で結婚式をやったり、それと大ホールは半分は引出式のイスを設置してありまして、あの場所でバトミントンが2面取れた、卓球が6面、そういったことで、その当時は、日光市内に、今市地域も含めて、セレモニーホールがなかったので、そういったことで、結婚式場を兼ね備えた総合会館を造ってはどうかということで、あれを造った経緯がある。それと、当時は体育館もなかったので、体育館も兼ね備えた総合会館を造るということで、バトミントンをやっている時は結構稼働率が高かったのです。結構日光から国体選手なんかもバトミントンで出たり、卓球も6面出来た。そういったことで、イベントをやる時には引出式のイスを出して、固定式ではなく、折り畳み式の席を兼ね備えたものを造って、色々大ホールとして果たした機能があるんです。そういったことなので、やはりこれからのニーズにあった中で、多目的ホールを造る時には是非、これから先々を考えた中で造っていったらよろしいのかなと言う風に思っていますので、やはりこれはせっかくの委員会で素晴らしい方々が皆さん集まっていますので、そういった方々の良い知恵を拝聴しながら、執行部の方で意見をまとめて行っていただければ有難いかなと思っています。先程の部会員さんと私はホールの多目的活用に関しては、AとBも兼ね備えたなかでやっていただければと思っていますので、よろしく願いいたしたい。」

○部会長

「ありがとうございます。ホールの中身的なものも含めてですね。そうすると委員の話とすれば、①プラス②と言うような、それを重点的にと言うようなことですかね。その辺に関してはどうでしょうか。ホールは多目的、多用途ということなので、中身的には非常にいろいろ考えなくてはならないのかなとは思いますが、それを兼ね備えたホールであるということ。あとそれから、あその現状は結局市民サービスのための会議等の機能もございます。それと、あの場所ですと観光ということもあるかと思うので、その辺で、例えばその他の機能の先程の話でもあるんですけども、あそこに現状2階にある会議室棟はどうするのか、小さな会議室等も色々あるかと思うんですけども、そう言うものはどうしたら良いのかということもあるかと思うので、その辺についてもありましたらお願いしたいんですけども。」

○部会員 1

「今もお話しありましたように、やはり多機能ホールプラス、今仰ったように、どの位の規模かと言うのはこれから検討していくかと思うんですが、会議室というのも市民サービスの一つとして、あの場所に必要なの付帯施設としてなってくるのではないかと思います。それと、先程も説明がありましたように、前回の資料6ページにあるように、せっかくあの場所にあるのであれば、観光情報を取得できる観光協会であるとか、日光市の観光課の出先機関とかインフォメーションセンター的なものが、実は西参道近辺に現状ないということを考えますと、世界遺産センターを含めた特に国内、国外の観光客に対してのインフォメーションを出来る場所と言うのは、今後あの場所には必要になってくるのではないかと思いますので、そういった部分も付帯施設として、是非隣接をしていただければと思います。」

○部会員 5

「ホール機能の話でもよろしいですか。ホール機能の部分は各委員さん色んな考えの違いがあるとは思いますが、まず学校事業で使う場合があります、その場合400人でも足りるかなという気がしております。小さければ小さい程お金がかからなくて良いのですが、造っても利用者が少ないのではこれは造る意味がないと思うんですよね。となると、一般も使えて、学校も使えてとなると、私は500人規模が良い

のではないかとということで、提案をさせていただきます。その辺も含めて他の委員さん方にも考えていただきたいと思いますので、お願いします。」

○部会長

「そうしますと、時間が限られますので、当専門部会としては、あの跡地に付与したい機能と言いますか、それがパターン化されているんですけども、その辺で、これとこれとかという風になるかと思うんですけど、その具体的なものは色々これからまた考えなくてはいけないんですけども、先程の部会員5さんの規模的なものは非常に難しいですけども、それでですね、AからFまでのパターンがあるのですが、我々、当専門部会ではどうなんだと、これを最低限我々としてはあそこの跡地に付与したいというところで絞れたら良いのかと思うんですけども、その辺でどうでしょうか。駐車場とホールと言うのは委員さん方が考えているところかなと思うのですが、そこも分かりませんが、その辺でどうでしょうか。」

○部会員3

「AからFパターンまで出てきましたけれども、これは本日決める予定でしょうか。」

○部会長

「出来ればそれとして、それからもう一つは方法論になってきますので、ある程度のものを絞っていただくとおっしゃっているのですが。」

○部会員3

「先程も言いましたように、これを数値で点数評価していけば、皆の意見が反映されると、委員さん一人一人の意見が集約されていくという形ですので、もし、出来得れば今日でなくて、今日以降、これを持ち帰っていただいて、市の方でこれをパターン化したものの点数票を作っていただいて、皆さんで評価していただいて、評価の点数の高い順から、例えばCパターンだとか、Dパターンとかという形で絞って行ければ一番皆さんの意見が集約されるのではないかとこの風に考えますがいかがでしょうか。」

○西尾アドバイザー

「今、①から④までである中で、先程部会員さん仰っていたんですけども、基本的には建物をどうするかという議論と、建物以外の敷地をどうするかという2つに分かれるのかなと言う気がします。そうすると、建物については、②と④だと思うんですね。建物をホール単独にするのか、ホールにその他の機能をつけるのかと言う整理と、あとそれ以外の敷地を駐車場だけにするのか、駐車場プラス、ハブ機能。ハブ機能をバスが旋回できる場所を作ると言うことは、その分駐車場を減らすという事になりますので、そういった事にするのか、それはやめて、駐車場だけに使うのか。②と④と、①と③をセットで考えると整理しやすくなるのかなという気がいたしました。」

○事務局

「先程、部会員3からお話しありましたとおり、今回、前回までの意見をこういった形でパターン化させていただきました。それを、部会員3の言葉をお借りすると、委員さん一人一人、点数化をして評価をして、例えば6パターンの中で順位付して、それを上から検討していくとか、そういったやり方も確かにあるのかなと言う風に思っておりますので、もし、皆さまの方でよろしければ、事務局としては、次回に向けてそういった準備をすることも可能でございます。話の中で、このまま進めても時間がかかり過ぎるだろうという事であれば、そういった形で整理して、次回議論と言うような形も出来るかなと思います。それと、その他の機能というところが、その他の機能という大きな括り方をしてしまったので、少し分かりにくかった部分もあろうかと思っておりますけれども、当然あの限られた敷地の中に、造るものによっては、建屋としてのホールの別建ての建屋になるという可能性も当然ある訳ですよね。もしくは、一つの建屋の半分側がホール機能で、その一部分に例えば、最初の頃の会議のところに出ていましたけれども、例えば文化協会さんが使えるような展示スペースを造るとかという事も考えられるでしょうし、当然にそういった使い方のところはあろうかと思っておりますけれども、ここにあがっている大きなものは一つの建屋の中にホール機能とこれを入れるのはなかなか敷地的に考えても少し難しいのかなと正直思うところ。2階建てにすれば、話は別なのかもしれませんが。という事もございますので、その他の機能としては、ハコモノはどうしても必要になってしまう、もしくは一つのハコのなかに複数の機能を持たせるというような認識ですので、ホールのなかで当然これをやるという事ではございませんので、そこは一つ整理をさせていただきたいと思っております。」

○部会長

「それでは、西尾先生が仰いました、建物としては、例えば二棟ではなくて一棟ということで、市の方の考え方としては持っているという事ですね。例えば、会議室棟、ホール棟という別々に棟を造るという事ではなくて。」

○事務局

「例えば、会議室とホールという視点で言いますと、一つの部屋のところを、会議室としても利用できるし、ホールとしても利用できるし、当然、集会としての機能としても使えると思いますが、それがあくまでも、多用途としての使い方ということになるんだと思います。それが今までも話に出ていた、パーティーションで区切ってみたりとか、という事は、一つの多用途としての使い方になるんだと思うんですけども、こういう所に世界遺産センターをこの中に造りましょうという話は、当然世界遺産センター造ると言うことは常設ということになりますし、観光情報センター造れば、やはり常設という事になりますから、このホール機能とは別建てという事に当然なると思います。ただ、ホールと会議室、集会機能と言うのは、一つの部屋のなかで、必要に応じて中を変化させることによって、例えば椅子の出し方やステージの造り方ですかとか、そういったものを変えることによって、多用途の使い方というのも可能性としてあるのかと思う。というところで、ホール機能の多用途という部分については、そういう考え方になっているところでございます。」

○部会長

「ホール機能とその他の機能という事ですね。」

○事務局

「はい、ホール機能とその他の機能の考え方の整理というところはそういう事です。」

○部会長

「部会員3からご提案ありました、マトリクス評価なんですけれども、これについては、市の方としてはどうでしょうか。これは、時間もかかるんですけれども。その場合、色々僅差になった時にどういう風になりますかね」

○部会員3

「点数評価ですので、ある項目を各個人で点数を評価していただいて、一番得点が高いものから順番を決めて行く話なので、それを1番、2番位をどうするかと言うのを検討すればいいのかなという事なので。事前に例えば、その資料を会議の前にいただいて、市の方で集約していただいて、次回の会議の議論に持っていくというのが、一番早いやり方なのではないかと言う風に感じます。」

○部会長

「そういう風な方法もあるということですね。この場で出来たら、出来なくはないかなと思うのですが、いかがでしょうか。」

○部会員5

「部会長に一任します。」

○部会長

「部会員3からのご提案もあるんですが、私としては、ここでまとめられたらまとめたいなと思っている。ホール、あるいは駐車場についても、色々規模とか中身とか多様なものがあるかと思うんですけども、機能としては、どうなんだろうという事で、まとめられたらと思っているんですが。まだ時間はありますので。」

○部会員2

「世界遺産センターとかの展示方法なんかも、結構工夫してやっている地域も結構あるんですね。例えば、富士宮の世界遺産センターなんかは非常に良い展示方法だなと思ったんですね。展示物をすぐ変えられる、例えば、絵の展示会をやる時には絵の展示用に変えられるとか、後は、展示方法として、プロジェクターとかで画像を壁に映しているだけなので、展示物の変更というのは、恐らくコンピューターで出来てしまうと思うので、そんなものも、あまり固定観念に縛られてしまうと、ホールと多機能のその他の機能を別に造らなくてはならないようになってしまうんですけども、色々考えていくと一緒に出来る方法もあるのではないかと思うので、そういうところも少し検討していただいて、なるべくお金がかからないように、良いものが出来るようにということを工夫していただければ良いなと思います。」

○部会長

「ありがとうございます。それではですね、出来ましたらば、ここで絞っていきたいかなとは思っているんですけども。先程の③のハブ機能は、色々部会員の意見にもありましたように、なかなか難しい機能で、土地の使い方やバス事業者とかとの調整とか、色々なものが勘案できますので、なかなかここでやるのは、かなりきついかなと思っているところがあるんですけども。そうしますと、例えばパターンAからFのところ、色々皆さん方の意見等、発言等でありますと、大体パターンDの①、②、④の機能。先程の西尾先生の話のように、建物としては①と④の機能、敷地としては①の機能ということで、その辺に集約出来ればどうかと思っているんですけども。その辺に関してはどうでしょうか。」

○部会員 2

「公共交通のハブ機能に関しては、恐らく後付でも出来てしまうと思うので、これは別に今決めなくても良いのかなと思うんですけども、機能としては絶対あった方が絶対良いと思いますし、こういう考え方も必要だと思うので、これは一つどこかの考え方としては、置いておいてもらって、土地の活用方法としては、恐らく今議論しなくても良い部分なのかなと思ったものですから。ただ、これは、どこかにおいて置かないと忘れられてしまうと、どうかとも思うので、今議論することではないのかなとは思いますが。」

○部会員 6

「質問をしたいのですが、駐車場を立体式にした場合に、このハブ機能はどこにどうやって作るのかというイメージがあるのかなと。立体式にして、バスが入って行けるのか、今の入口からだイメージがわからないので、出来るのか出来ないのかと言うのをちゃんと考えた上での提案なのかと言うのが、ちょっと読めてこないのですが。」

○事務局

「市の方からの提案と言うよりも、前回までの意見を整理したと言う形になっておりますので、そこはちょっと誤解がないようにしていただきたいと言うのが一点なのですが。仮に、立体で造ったとしても、あそこの敷地全面を立体にするという事は、基本的にあるのか？と思っているのですが、現状もあそこの駐車場、大型バスが利用されていますよね。という事は、現状ベースで考えて大型バスが使っているところに、仮にあそこを駐車場として整備した場合、では、今後、大型バスを使わせませんという話には基本的にはならないのかなと言う風には市の方としては単純に思っただけなんですけれども、という事は全面が立体と言うよりは、平面の部分も敷地としての駐車場としては出てくるのかなと言う風な捉え方をさせていただいたところです。そういったなかで、そのバス一台分のところをハブ機能という形で場合によっては、使えたりするのかと言うのが捉え方をしたところでございます。」

○部会員 6

「一応、自分は道路整備とか駐車場整備の専門家と言うかプロなので、言わせていただくと、立体式で高さ制限がありますよという中で、バスを通過させるような立体式と言うのはなかなか難しいと思うですね。そうすると、平面固定になると思います。ハブ機能置きましょう、今後もそれを検討しましょうとなった時にはそれは平面の一択になってきてしまうかなと思うので、もし、入口等が、今の自動販売機辺りから入って下を掘り下げてしまって、下に地下階みたいな駐車場造りますと言うことなら可能かなとは思いますが、少しその辺を意識しないと、ハブ機能造りますと決めてしまった場合に出来ませんと言うのが見えているなと言う風に私は思っています。」

○副市長

「確かにこのハブ機能については、スペースの問題が必要であると思います。大体ここは8,000㎡ありますが、例えば小ホールを建てるとして、その敷地の広さが1,200㎡位必要だとすると、残ったスペースをどういう風に駐車場にしていくかという話になった時に、この別紙資料に示させてもらったところで言いますと、例えば、駐車場の必要面積が3,000㎡なり4,000㎡という事になると、さらに残った土地のスペースが少なからず生じてくることになる。もちろん駐車場を造る場合でも敷地目いっぱいには造る訳にもいきませんし、立体かどうかという議論もこれからあると思うんですけど、そういった余裕スペースと言いますか、残地の部分をうまく利用した上で、モータープールの的な利用が出来ないものか。要は、バスや、自転車も含め、そんな風な活用の幅を広げるという意味では、可能性としての余地を残しておくことはありなのかなと考えております。」

○部会員 6

「そういう話になってしまうと、今後決めて行きましょうと言う時に、何でも余地を残して行っても良いよ

と言う話になってしまうと思うんですね。」

○副市長

「もちろん、駐車場自体も先程の高さ制限の話もあるし、今後の将来的な利用を考えた時に、果たしてがちりした立体化をしてしまう方が良いのかどうかという議論もこれからだと思っていますけれども、ただ空いたスペースをどのように利用できるかの可能性の中で、この公共交通ハブ機能については、そこに付帯要件として加えることも出来るかなと思ったわけです。そこはやはり難しいのでしょうか。」

○部会員 6

「難しくはないと思うのですが、結局、建物とかを造る時に、あの敷地は変形しているじゃないですか、あまり四角形ではないし、高低差もありますし、そうすると、総面積を全て使える訳ではなくて、恐らく8割位なんですよ、まともに使おうと思うと。そこから1, 200㎡減りましたということになると、大して残らないのではないと思う。と言うのが私の意見です。」

○部会長

「③のハブ機能については、色々意見も出ていた訳ですけども、バス会社の問題、それからスペースの問題、地形的な問題とか、色々ございまして、先程の部会員さんからもありましたように、一応考えとしてはあるという事で、議論の中から省いていきたいと思っています。パターンDの①②④ですか、それを委員さん方のご賛同がいただければ、①、②、④に絞っていききたいと思うのですが、どうでしょうか。よろしいでしょうか。これを議論として深めて行くという事で。」

○部会員 7

「少し単純なのかもしれませんが、ホール機能の多用途使用、これを興味を持っているし、期待もしているのですが、このホール機能と言うのを駐車場の上面に造るという事は出来ないのですか。どこかにホール機能がある建物だけを別に新しく造るというのではなくて、駐車場の上面に多用途用のホールが出来ないものかなと、今そんな風に思っていたのですが。どうなんでしょうか。」

○事務局

「駐車場の規模を、先程もお話しあったように、場合によっては、平地での駐車場ということも視野としては考えられなくはないのだと思うのですが、仮に駐車場多層化して、その一番上にホールを造りましょうという話になると、今回お示しました、別紙資料1というところで、駐車場機能とホール機能のかかる費用の見込ですけども、記載をさせていただいております。多分一体ものになると、相当建造強固な建物、増して一番上に人が入るといふ事になると、相当な建物を造らないとなかなか難しいのかなという事になりますので、多分費用もここに記載の費用よりも相当跳ね上がるのかなと、感覚論で申し訳ないのですが、と言う風に思っております。ここに記載の金額でも、正直市として金が出せるかと言うと、厳しい部分がありますので、次回以降の手法の部分としての公民連携の時にまた改めてお話をすることにはなるかと思っておりますけれども、さすがにこれよりも感覚として金額が上がってくると、よりなかなか市としては厳しい、また仮に公民連携でやった時に前回のサウンディングのなかで、駐車場の利用とホール機能の利用のところで意見もあったという事も踏まえると、それでも、お金かかってでも欲しいという話になればそれはそれですけども、なかなか正直厳しいのではないかと言うのは、感覚論で申し訳ないのですが、お金がかかって厳しいのかなと感じるところです。」

○部会員 5

「先程の部会員意見に反論する訳ではないのですが、上に何メートルになるかわかりませんが、その上に多目的ホールを造った時にやはり身体の不自由な方々を考慮しますと、エレベーターをつけたり、エスカレーターは難しいと思うのですが、そういった方々を考慮した上で、全市民的に考えると、やはり上に造ると言うのは、ちょっといかなものかなと思う。やはり下層階でないと、利用頻度が減っていくし、そういった身体の不自由な方々からかなり指摘が出てくるのではないかと思いますので、そういった相対的に考えた中で多目的ホールを建設するのが一番よろしいかなと思っておりますので、私の意見として申し上げたいと思います。」

○部会員 7

「そうですね、自分も階段等上がるのは大変だと思いますので、良くわかります。」

○部会長

「それではどうでしょうか、先程西尾先生からありましたように、建物、敷地ということで考えていって、

では、その機能は何だろうということ、それは、①、②、④という事で、我々としてはそれに絞って
いってよろしいでしょうか。大丈夫ですか。」

・・・特に意見なし

○部会長

「それでは、この委員会としては、パターンとしてはDの①、②、④の機能をあそこの跡地に付与するとい
うことで、決定したいと思っております。アドバイザーの先生方から何かありましたらよろしく願いい
たします。」

○山本アドバイザー

「①、②、④という事は分かったんですけども、最初の第1回の会議の時に、市の方の考え方の中に、資
料の3で、日光市の現状という中にですね、今後65%は建替え出来ないという、財源不足、これは大き
な要素になっていますし、将来的には、一人当たりの負担額、倍くらい負担が増えるということで、ラン
ニングコストも考えながら、インシヤルコストを考えながらやっていかなければならないという事にな
ると、この3つの機能を選ぶにしても、なるべく、先程の駐車場の話にしても、休みの日と普通の平日の差
が凄く大きいので、最少の費用で最大の効果が出る、費用対効果があるようなものにしなければいけ
ないです。今、一般的にホールと言うと先程、部会員5さんが言われた通り、前の時でも多目的に使っ
たということなので、一般的に今後使えるものとすれば、相当多目的にフリーに使える、自由に使える形
で、その中で最小の面積を求めて行くのが多いです、自由に使いながら。その他は今後検討されるでし
ょうから、いくつかの項目があるのかと思うのですけれども、やはり、費用に関しては、その辺は3つ機能
が上がったとしても、今後の検討のなかで、それを十分吟味していただきたいなと思います。」

○西尾アドバイザー

「私も少しコストの事になるんですけども、別紙資料のなかで、現状でのコストの目安が出されています
けれども、今の議論でもし、ホール機能がプラスその他の機能ということもつけて建物として考えるので
あれば、今はこれは、あくまでもホールだけのコストの試算になっていますので、それにプラスαで付け
加えた部分の全体としての建物のコストという事で見直して行く必要があるのかなと思います。

現状のインシヤルコスト、整備費用しか計上されていませんので、ご説明ありましたけれども、ランニ
ングコストをこれにプラスしていく必要があると思いますし、実は整備費用もインシヤルコストだけでは
ないですね。フルコストという観点で言うと、当初整備に必要だったコストに加えて、日光市の想定で
すと、20年ごとに大規模改修をしていくという事を考えていますので、大規模改修でかかる経費も整備
費用として、フルコストで見ると時には入れていかなければいけないと思いますので、後、これが、1.6
倍とか、もし80年使うという考え方で言うと、2倍位にトータルコストとしてはなってくると思いま
すので、そういった、ライフサイクルコストと言う言い方もありますけれども、全体でかかるコスト、整備
費用、ランニングコスト全て合わせて、それを例えば年単位に割りかえした時に、1年当たりどれ位の費
用負担になるのかというところを考えていく必要があるのかなと思います。それがもし、利用料がほとん
ど取れない施設であると、その年当たりかかってくる費用と言うのは全て税金で負担をするという事にな
りますので、本当にそれだけの税金負担が出来るのかという観点でも規模とか機能の内容を精査していく
必要があるのかなと思います。なかなか市の財政が厳しいという事になると、恐らくそういった無料で使
える施設だけではなくて、何等かその収益を生む機能という事も、もしかするとその他の機能の議論の中
で、考えていく必要があるのかなという気もしています。」

○部会長

「ありがとうございます。」

それでは、今日の議論といたしましては、あそこの跡地には、機能としては3つを考えるということで
整理したいと思っております。次回の会議には、今アドバイザーの両先生からありましたように、コス
トの面が非常に頭が痛いものがありますので、その辺を考えながら、具体的な規模、駐車場ですとかホ
ールとか、それを考えると。それから、もう一つ大きな問題はその方法をどうするのかということがあ
りますので、その辺を議論出来たらと思っております。

後、委員の皆さまから何かありましたら。」

○副市長

「今、アドバイザーの先生からお話しがあったところに付け加えになってしまうかも知れませんが、仮に
駐車場機能とホール機能を合わせて、全体で10億円を市が直轄で工事をして造ったとすると、それに必
要な10億円の財源と言うのは、当然借金をして捻出しなくてはならない。その10億円を例えば20年

間で返済すると仮定すると、1年間に5千万円、それに利子を加えて返済することになります。現状においては借金がない訳ですから、市直轄で新設する場合、それを新たに負担していかなくてはならないという事になり、財源上は赤字になる要素が多分に増えてくるという事になります。極力少ないお金で整備が出来れば、財源上の軽減がなされるということも十分想定した上で判断していかなければならないということも認識して貰う必要があります。今後その辺も含めて、収入との兼ね合いも併せて資料としてのお示しも出来ればと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。」

○部会長

「ありがとうございます。それでは、今日の用意されました議題につきましては、これで終了いたしたいと思ひます。次回の時にはですね、先程両アドバイザーの先生方からありましたこと、それから副市長さんのお考え等含めまして、議論出来たら良いのかなと思ひしております。これで議事は終了したいと思ひます。議事を事務局にお返ししたいと思ひます。」

○事務局

「ありがとうございました。事務局より連絡事項・・・次回の会議開催日程（9月30日（月）午前10時から 会場日光行政センター）の連絡」
では、以上を持ちまして第四回日光総合会館検討専門部会を終了させていただきます。」 以上